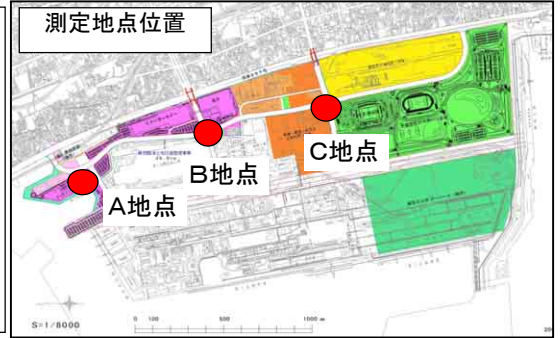


# JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)における大気環境状況測定結果

H19年度(H19.4~H20.3)

当所敷地境界における大気環境状況につきまして  
H19年度は、以下の内容で調査しております。

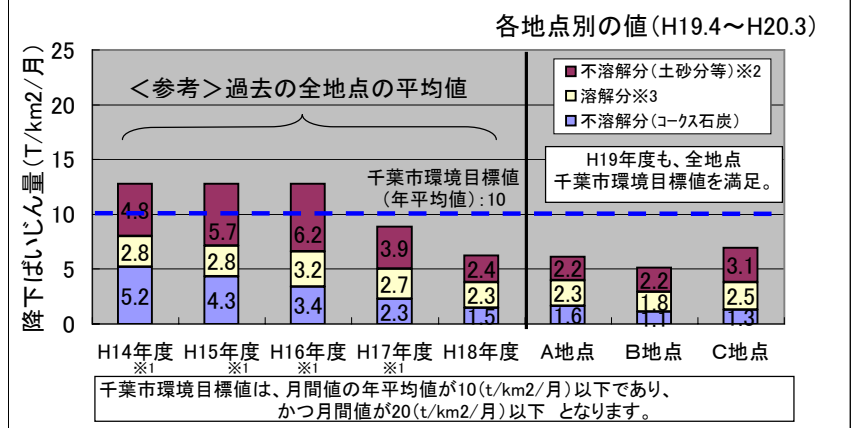
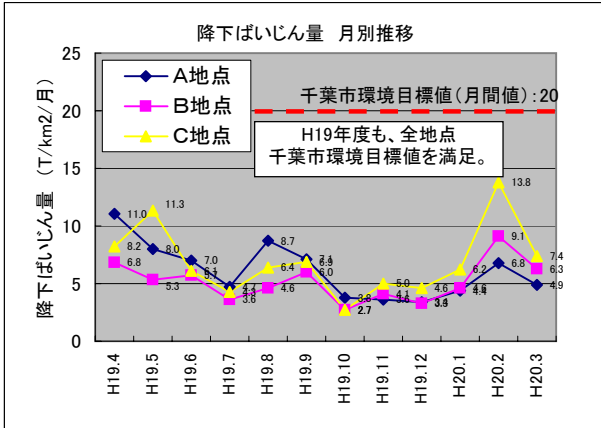
- ・測定地点: A、B、C 3地点 (右図参照)
- ・測定項目: 1)降下ばいじん量  
2)悪臭  
3)ベンゼン
- ・測定頻度: 1)降下ばいじん量:1月単位 2)悪臭:1回/2週間 3)ベンゼン:1回/1週間



なお、各項目の分析業者は、以下のようになっております。

- 1)降下ばいじん量:日産産業(株)環境技術センター
- 2)悪臭:中外テクノス(株)関東環境技術センター
- 3)ベンゼン:JFEテクノリサーチ(株)分析・評価事業部 千葉事業所、倉敷事業所

## 1)降下ばいじん量



- ・※2 不溶解分(土砂分等)には、蘇我臨海部地区内の解体、造成等基盤整備工事等の要因が含まれる。
- ・※3 溶解分:ナトリウム、マグネシウム等の可溶成分。海域からの飛来する塩分が主体。

## 2)悪臭

### 臭気濃度測定結果

地点	項目	H19.4	H19.5	H19.6	H19.7	H19.8	H19.9	H19.10	H19.11	H19.12	H20.1	H20.2	H20.3
		N数	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2
A	協定値(※4)達成数	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2
	臭気濃度最大値	10未満	10未満	10未満	10未満	13	16	10未満	11	19	10未満	10未満	10未満
	臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満
B	N数	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2
	協定値(※4)達成数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	臭気濃度最大値	10未満	12	10未満	10未満	10未満	20	17	10未満	10未満	17	10未満	10未満
C	N数	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2
	協定値(※4)達成数	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2
	臭気濃度最大値	10未満	10未満	10未満	12	10未満	13	19	10未満	10未満	10未満	10未満	16
	臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

※4 悪臭の協定値は、敷地境界20以下です。

H19年度も、全地点協定値を満足。

### <参考>過去の全地点の測定値

	H14年度※1	H15年度※1	H16年度※1	H17年度※1
N数	40	40	288	392
協定値(※4)達成数	38	37	286	392
臭気濃度最大値	62	49	27	20
臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満

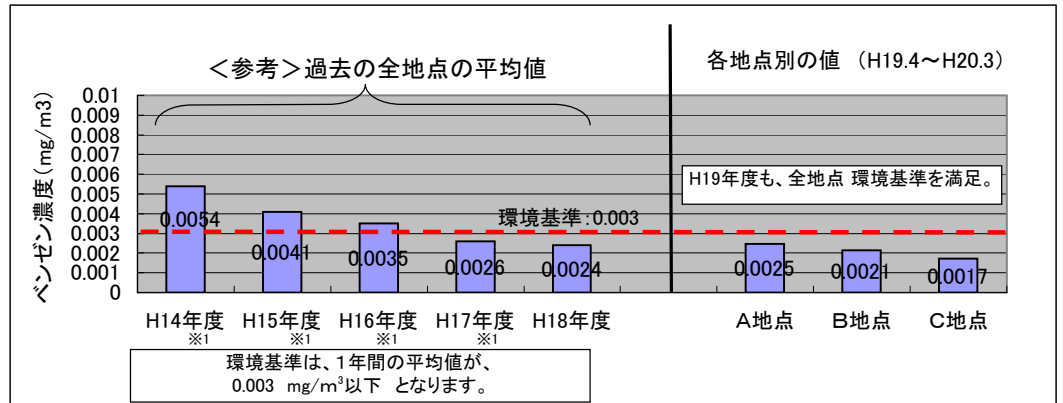
  

	H18年度
N数	97
協定値(※4)達成数	97
臭気濃度最大値	19
臭気濃度最小値	10未満

## 3)ベンゼン

### 各地点 ベンゼン濃度平均値

A地点: H19.4~H20.3における N=50の平均値  
B地点: H19.4~H20.3における N=50の平均値  
C地点: H19.4~H20.3における N=50の平均値



## 【備考】 ※1 過去の測定データにつきまして、

- 1)各年度のデータの測定期間を以下のようになっております。  
・H14年度はH14.10~11、・H15年度はH15.3、・H16年度はH16.6~H17.3、・H17年度はH17.5~H18.4(街開き後1年間)
- 2)各測定地点の位置、個別のデータ詳細につきましては、『測定結果一覧表 (平成14年10月~平成18年4月(街開き後1年間)まで)』をご覧ください。